



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日

上場会社名 昭栄薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3537 URL <https://www.shoei-yakuhin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 佐一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長 (氏名) 成瀬 幸次 (TEL) 06-6262-2707
 四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	11,113	△11.9	236	△24.0	349	△20.0	246	△22.2
2023年3月期第2四半期	12,616	26.2	310	190.9	436	126.2	316	154.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 524百万円(△29.7%) 2023年3月期第2四半期 745百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	72.59	—
2023年3月期第2四半期	92.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	16,147	7,781	48.2
2023年3月期	14,798	7,370	49.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 7,781百万円 2023年3月期 7,370百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	36.00	36.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	36.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	24,232	△1.2	329	△32.5	480	△28.7	347	△28.3
								102.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期2Q	3,579,105株	2023年3月期	3,579,105株
2024年3月期2Q	177,230株	2023年3月期	186,230株
2024年3月期2Q	3,395,446株	2023年3月期2Q	3,432,333株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2023年11月30日(木)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日に使用する決算説明会資料については、開催後遅延なく当社ホームページ (<https://www.shoei-yakuhin.co.jp/ir/>) に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の解除を背景に経済活動の正常化が進み明るさを取り戻しつつありますが、世界的な金融引締めや資源価格の高騰、物価上昇によるインフレ懸念、ウクライナ情勢等、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループの事業とかかわりの深い界面活性剤業界は、海外経済の減速懸念から生産・販売活動とも前年を下回りました。

こうした中、当社グループにおいても、これまでコロナ禍で対面による商談を控えておりましたが、行動制限の解除もあり、対面による商談回数を増やし、化学品事業における既存得意先への拡販・拡充、環境ソリューションビジネスの提案、新興国化学品の販売拡大に取り組んでまいりました。また、仕入・販売価格については、仕入・販売価格に影響を及ぼす天然油脂（パーム油）相場価格が前年度と比較して大きく下落し、販売価格の押し下げ要因となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は11,113,331千円（前年同四半期比11.9%減）、営業利益は236,045千円（前年同四半期比24.0%減）、経常利益は349,244千円（前年同四半期比20.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は246,487千円（前年同四半期比22.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高は外部顧客への売上高を表示し、セグメント損益は四半期連結損益計算書における営業損益（営業利益又は営業損失）をベースとしております。また、各セグメントの営業損益のほかに、各セグメントに帰属しない全社費用86,269千円（前年同四半期比2.1%増）があります。

① 化学品事業

化学品事業におきましては、海外経済の減速懸念から自動車関連や繊維油剤関連の主要得意先からの受注が減少し、天然油脂相場価格も前年と比べ、低迷していることから、数量、販売価格とも下落しました。ただ、利益面では新興国化学品の販売拡大や円安による輸出原材料の拡販等もあり、利益率の下支えとなりました。

この結果、化学品事業に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は10,094,812千円（前年同四半期比13.3%減）、セグメント利益は277,582千円（前年同四半期比23.1%減）となりました。

② 日用品事業

日用品事業におきましては、当事業が取扱う掃除用関連商品や生活日用品（洗濯槽クリーナーや冷蔵庫脱臭剤等）の一部商品の売行きは堅調に推移するものの、全体の売行きでは依然低迷し、また円安による輸入商材の仕入価格の高騰等、事業環境は厳しい状況が続きました。

この結果、日用品事業に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は385,188千円（前年同四半期比8.7%減）、セグメント利益は41,898千円（前年同四半期比7.9%減）となりました。

③ 土木建設資材事業

土木建設資材事業におきましては、これまで受注案件が少なかった当事業の取扱商品とかかわりの深い地盤改良工事、コンクリート補修補強工事に復調の兆しが見られ、工事に使用される材料・添加剤等の販売が回復基調となりました。また環境関連薬剤では、新規に受注した大型プロジェクト物件（トンネル工事）が継続し、好調に推移しました。

この結果、土木建設資材事業に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は633,330千円（前年同四半期比14.4%増）、セグメント利益は2,833千円（前年同四半期は11,524千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は16,147,465千円(前連結会計年度末比1,349,446千円の増加)となりました。主な要因は、商品が118,128千円減少した一方で、売上債権が801,267千円、保有有価証券の時価変動等により投資有価証券が353,631千円、現金及び預金が319,943千円それぞれ増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は8,366,409千円(前連結会計年度末比938,610千円の増加)となりました。主な要因は、短期借入金が350,000千円減少した一方で、支払手形及び買掛金が1,167,485千円、繰延税金負債が103,864千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は7,781,056千円(前連結会計年度末比410,835千円の増加)となりました。主な要因は、保有有価証券の時価変動等によりその他有価証券評価差額金が236,905千円、利益剰余金が124,344千円それぞれ増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ301,043千円増加し、1,561,987千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は769,462千円(前年同四半期は42,482千円の獲得)となりました。主な要因は、売上債権の増加額786,028千円があった一方で、仕入債務の増加額1,165,693千円、税金等調整前四半期純利益349,244千円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6,823千円(前年同四半期は14,032千円の使用)となりました。主な要因は、保険積立金の解約による収入8,005千円があった一方で、投資有価証券の取得による支出12,010千円、保険積立金の積立による支出2,262千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は472,143千円(前年同四半期は187,520千円の使用)となりました。主な要因は、短期借入金の純減額350,000千円、配当金の支払額122,143千円があったことによるものです。

資本の財源及び資金の流動性に係る情報は、次のとおりであります。

① 主要な資金需要及び財源

当社グループの主要な資金需要は、商品、販売費及び一般管理費、並びにシステム投資等の投資であります。また今後、当社グループの収益の源泉として、事業間及び国内外間のシナジーを追求し売上高の増加を目指してまいります。

② 資金の流動性

突発的な資金需要に対して、迅速かつ確実に資金を調達できるよう、20億円の当座借越枠を取得しており、流動性リスクに備えております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、海外経済の減速懸念やロシア・ウクライナ情勢、また中東情勢等の地政学リスク、一部原材料価格(天然油脂相場価格)の変動リスク等、先行きに対する不透明感が多くあるため、2023年5月11日「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表した数値から変更はありません。ただし、今後の業績動向などを見極め、修正の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,526,944	1,846,887
受取手形	769,226	679,527
電子記録債権	1,046,914	1,325,930
売掛金	5,509,190	6,121,141
商品	615,827	497,699
その他	90,679	86,764
貸倒引当金	△253	△694
流動資産合計	9,558,530	10,557,257
固定資産		
有形固定資産	176,166	169,865
無形固定資産	1,867	1,697
投資その他の資産		
投資有価証券	4,536,808	4,890,440
敷金及び保証金	347,700	350,661
その他	180,751	181,848
貸倒引当金	△3,804	△4,305
投資その他の資産合計	5,061,455	5,418,644
固定資産合計	5,239,489	5,590,208
資産合計	14,798,019	16,147,465

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,193,009	6,360,495
短期借入金	650,000	300,000
未払法人税等	53,574	99,668
賞与引当金	80,047	91,061
その他	143,206	106,185
流動負債合計	6,119,838	6,957,411
固定負債		
退職給付に係る負債	53,690	50,082
長期未払金	127,383	128,195
繰延税金負債	1,095,363	1,199,227
その他	31,522	31,492
固定負債合計	1,307,960	1,408,997
負債合計	7,427,798	8,366,409
純資産の部		
株主資本		
資本金	248,169	248,169
資本剰余金	173,568	173,808
利益剰余金	4,296,241	4,420,585
自己株式	△178,087	△169,481
株主資本合計	4,539,890	4,673,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,659,819	2,896,725
為替換算調整勘定	170,510	211,249
その他の包括利益累計額合計	2,830,330	3,107,974
純資産合計	7,370,220	7,781,056
負債純資産合計	14,798,019	16,147,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	12,616,070	11,113,331
売上原価	11,635,383	10,171,307
売上総利益	980,686	942,024
販売費及び一般管理費	670,191	705,978
営業利益	310,494	236,045
営業外収益		
受取利息	2,623	3,445
受取配当金	68,951	70,705
為替差益	45,125	26,621
不動産賃貸料	11,074	11,074
その他	4,728	5,943
営業外収益合計	132,503	117,791
営業外費用		
支払利息	1,548	101
不動産賃貸原価	4,072	4,163
その他	728	328
営業外費用合計	6,348	4,592
経常利益	436,649	349,244
税金等調整前四半期純利益	436,649	349,244
法人税、住民税及び事業税	118,698	104,283
法人税等調整額	1,262	△1,527
法人税等合計	119,961	102,756
四半期純利益	316,688	246,487
親会社株主に帰属する四半期純利益	316,688	246,487

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	316,688	246,487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	360,544	236,905
為替換算調整勘定	68,237	40,739
その他の包括利益合計	428,782	277,644
四半期包括利益	745,470	524,132
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	745,470	524,132

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	436,649	349,244
減価償却費	6,813	6,929
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,680	941
受取利息及び受取配当金	△71,575	△74,151
支払利息	1,548	101
為替差損益 (△は益)	△9,882	△12,728
保険解約返戻金	△1,604	△3,264
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,092	11,014
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,465	△3,608
売上債権の増減額 (△は増加)	△951,672	△786,028
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△57,480	124,864
長期前払費用の増減額 (△は増加)	7,723	4,267
仕入債務の増減額 (△は減少)	778,114	1,165,693
未払消費税等の増減額 (△は減少)	25,992	△29,169
その他	67	2,919
小計	174,571	757,025
利息及び配当金の受取額	71,305	73,260
利息の支払額	△1,548	△101
法人税等の支払額	△201,845	△60,721
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,482	769,462
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,881	△297
投資有価証券の取得による支出	△11,251	△12,010
保険積立金の積立による支出	△2,197	△2,262
保険積立金の解約による収入	3,040	8,005
その他	257	△258
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,032	△6,823
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△9,186	△350,000
自己株式の取得による支出	△33,220	-
配当金の支払額	△145,113	△122,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	△187,520	△472,143
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,766	10,548
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△160,836	301,043
現金及び現金同等物の期首残高	913,365	1,260,944
現金及び現金同等物の四半期末残高	752,529	1,561,987

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	化学品事業	日用品事業	土木建設資材 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	11,640,868	421,687	553,514	12,616,070	—	12,616,070
外部顧客への売上高	11,640,868	421,687	553,514	12,616,070	—	12,616,070
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,381	—	—	2,381	△2,381	—
計	11,643,249	421,687	553,514	12,618,451	△2,381	12,616,070
セグメント利益又は損失(△)	361,013	45,502	△11,524	394,990	△84,495	310,494

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△84,495千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△84,495千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	化学品事業	日用品事業	土木建設資材 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	10,094,812	385,188	633,330	11,113,331	—	11,113,331
外部顧客への売上高	10,094,812	385,188	633,330	11,113,331	—	11,113,331
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,460	—	—	2,460	△2,460	—
計	10,097,273	385,188	633,330	11,115,792	△2,460	11,113,331
セグメント利益	277,582	41,898	2,833	322,314	△86,269	236,045

(注) 1. セグメント利益の調整額△86,269千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△86,269千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。